

社会資本総合整備計画 事後評価シート

岩見沢市中心市街地の活性化

北海道岩見沢市

令和2年度

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）事後評価書

計画の名称	1 岩見沢市中心市街地の活性化		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	北海道、岩見沢市
計画の目標			

岩見沢市の中心市街地は、商店数や事業所数の減少、空き店舗や空き地、空き家の増加が見られ、人口も横ばい傾向にある。平成19年11月に中心市街地活性化協議会が設立され、行政と民間事業者等が一体となった取り組みを進めてきている。さらなる活性化に向け、空きビルに市民ニーズに対応した都市機能を導入して、中心市街地の核となる施設の魅力向上による“ふれあいと交流のある賑わいづくり”に取り組むとともに、民間共同住宅の建設支援等により“住みたいと思う暮らし環境づくり”に取り組む、快適で魅力ある中心市街地の再生を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 第1ポルタビルの入込み客数（平日・休日の平均）を3,765人(H26)から3,960人(H31)に増加 中心市街地における歩行者・自転車通行者数（平日・休日の平均）を4,281人/日（H26）から4,440人/日（H31）に増加 		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)							
第1ポルタビルの入込み客数を、平日と休日1日ずつを調査（10時間）し、平均値を算出する。	3,765人	3,940人	3,960人							
口の字回廊4地点（駅前通り、4条通り、栄通り、1条通り）における歩行者・自転車通行者数を平日と休日のそれぞれ複数日測定し（12時間）、平均値を算出する。	4,281人/日	4,440人/日	4,440人/日							
全体事業費	合計 (A+B+C)	203百万円	A	203百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

【事後評価の実施体制・実施時期】	
○実施体制	岩見沢市経済部中心市街地活性化推進室において、事業実施部局である教育部子ども課及び健康福祉部健康づくり推進課と連携・調整を図るとともに、岩見沢市中心市街地活性化基本計画のフォローアップとの整合を図りながら、定量的指標の達成状況や事業効果の発現状況の検証を行い、最終目標値と最終実績値に差が出た要因を分析した。
○事後評価の実施時期	令和2年度
○公表の方法	岩見沢市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
								H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	住宅	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市	ポルタ地区暮らし・にぎわい再生事業	空きビル再生 延床面積 42,000㎡						153	
1-A-2	住宅	一般	岩見沢市	間接	民間企業	3・5地区優良建築物等整備事業	賃貸住宅の整備 13戸						50	
合計												203		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

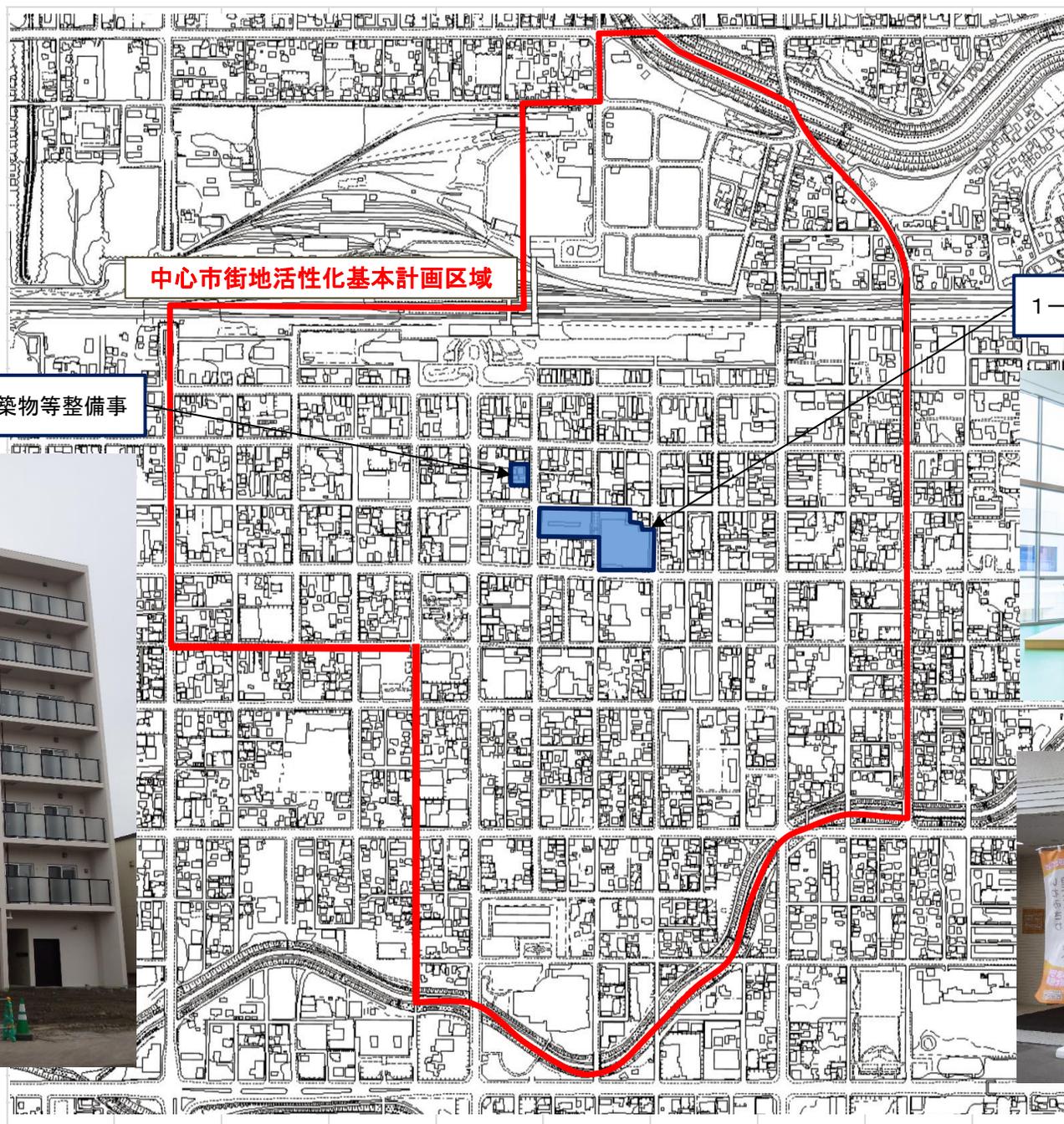
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する交付対象事業の発現状況		<p>平成24年4月に再生オープンしたポルタビルの空きスペースを活用して、平成27年度に子育て支援機能拡充事業、平成28年度に健康づくり拠点整備事業を実施し、中心市街地の核施設としての機能強化を図り“ふれあいと交流のある賑わいづくり”に取り組んだ。事業によって整備された第1ポルタビルの「あそびの広場」と第2ポルタビルの「健康ひろば」の利用状況は良好で、利用者数は当初の予測数を上回った。しかし、定量的指標である第1ポルタビルの入込客数（平日・休日の平均）及び中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）はいずれも最終目標値を達成することができなかった。</p>		
II 定量的指標の達成状況	第1ポルタビルの入込客数（平日・休日の平均）	最終目標値	3,960人	目標値と実績値に差が出た理由
		最終実績値	3,038人	
	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）	最終目標値	4,440人/日	
		最終実績値	3,419人/日	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		<p>平成28年度以降「あそびの広場」において季節毎のイベント等を多数実施し、市内のみならず札幌市等周辺都市からの集客に寄与することができた。</p>		
3. 特記事項（今後の方針等）				
<p>計画期間終了後は、市の独自計画である「岩見沢市まちなか活性化計画」により中心市街地の活性化を推進しており、整備された「あそびの広場」や「健康ひろば」などを活用して多世代の交流を促進するソフト事業を展開し、まちなか活性化の将来像である「多世代のふれあいを育み、岩見沢らしい魅力を高めた“活性化の拠点”」づくりを進めていく。</p>				

(参考図面)

計画の名称	1 岩見沢市中心市街地の活性化	交付対象	北海道、岩見沢市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



中心市街地活性化基本計画区域

1-A-2 3・5地区優良建築物等整備事

1-A-1 ポルタ地区暮らし・にぎわい再生事業



【あそびの広場】



【健康ひろば】